

開講年度	2025年度	課目名	ビジネスマナー	学年	1・2年
担当教員	佐久間 寿美江	学科	美容総合科（ヘア）	時限数	66時限

授業内容	基礎から応用まで幅広い内容の座学と、あいさつやカウンセリングの仕方は実際に会話を交えながら実践する。
授業目標	・技術とマナーを兼ね備え、プロフェッショナルとして自信をもつこと ・正しいマナーで丁寧に対応できる人材となるため
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	株式会社研修屋 代表取締役社長であり、多くの会社や美容室の新人研修講師を務める。 資格も多数所持し双方の経験と知識を活かした授業を展開する。

授業計画及び学習の内容			
1	マナーの基本1	17	聴く技術（応用）カウンセリング
2		18	
3	マナーの基本1	19	聴く技術（応用）カウンセリング
4		20	
5	マナーの基本2	21	聴く技術（応用）カウンセリング
6		22	
7	マナーの基本2	23	聴く技術（応用）カウンセリング
8		24	
9	電話応対	25	話す技術（基本）
10		26	
11	電話応対	27	話す技術（基本）
12		28	
13	聴く技術（基本）	29	話す技術（応用）プレゼンテーション 印象フィードバック
14		30	
15	聴く技術（基本）	31	話す技術（応用）プレゼンテーション 印象フィードバック
16		32	

33	販売 セールストークとタイプ別アプローチ	59	セールスアプローチ
34		60	

35	販売 セールストークとタイプ別アプローチ	61	セールスアプローチ
36		62	
37	クレーム対応	63	ほめる技術
38		64	
39	クレーム対応	65	ほめる技術
40		66	
41	就職対策		
42			
43	就職対策		
44			
45	客観的に自分を観る （マナー体得度チェック）		
46			
47	客観的に自分を観る （マナー体得度チェック）		
48			
49	端的に話す 面接ロープレ		
50			
51	自己理解 エニアグラム		
52			
53	自己理解 エニアグラム		
54			
55	接客ロープレ		
56			
57	接客ロープレ		
58			

開講年度	2025年度	課目名	ビジネスマナー	学年	1・2年
担当教員	佐久間 寿美江	学科	美容総合科（トータル）	時限数	66時限

授業内容	基礎から応用まで幅広い内容の座学と、あいさつやカウンセリングの仕方は実際に会話を交えながら実践する。
授業目標	・技術とマナーを兼ね備え、プロフェッショナルとして自信をもつこと ・正しいマナーで丁寧に対応できる人材となるため
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	株式会社研修屋 代表取締役社長であり、多くの会社や美容室の新人研修講師を務める。 資格も多数所持し双方の経験と知識を活かした授業を展開する。

授業計画及び学習の内容			
1	マナーの基本1	17	聴く技術（基本）
2		18	
3	マナーの基本1	19	聴く技術（基本）
4		20	
5	マナーの基本2	21	聴く技術（応用）カウンセリング
6		22	
7	マナーの基本2	23	聴く技術（応用）カウンセリング
8		24	
9	サービス接客検定対策	25	話す技術（基本）
10		26	
11	サービス接客検定対策	27	話す技術（基本）
12		28	
13	電話応対	29	話す技術（応用）プレゼンテーション 印象フィードバック
14		30	
15	電話応対	31	話す技術（応用）プレゼンテーション 印象フィードバック
16		32	

33	販売 ユーザーストーリーとタイプ別アプローチ	60	
----	------------------------	----	--

34	販売 セールストークとタイプ別アプローチ	61	接客ロープレ
35	販売 セールストークとタイプ別アプローチ	62	
36		63	
37	クレーム対応	64	ほめる技術
38		65	ほめる技術
39	クレーム対応	66	
40			
41	就職対策		
42			
43	就職対策		
44			
45	客観的に自分を観る (マナー体得度チェック)		
46			
47	客観的に自分を観る (マナー体得度チェック)		
48			
49	端的に話す 面接ロープレ		
50			
51	端的に話す 面接ロープレ		
52			
53	自己理解 エニアグラム		
54			
55	自己理解 エニアグラム		
56			
57	これからの女性のキャリアプランとライフプラン		
58			
59			

開講年度	2025年度	課目名	ビジネスマナー	学年	1・2年
担当教員	佐久間 寿美江	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	66時限

授業内容	基礎から応用まで幅広い内容の座学と、あいさつやカウンセリングの仕方は実際に会話を交えながら実践する。
授業目標	・技術とマナーを兼ね備え、プロフェッショナルとして自信をもつこと ・正しいマナーで丁寧に対応できる人材となるため
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	株式会社研修屋 代表取締役社長であり、多くの会社や美容室の新人研修講師を務める。 資格も多数所持し双方の経験と知識を活かした授業を展開する。

授業計画及び学習の内容			
1	マナーの基本1	17	聴く技術（応用）
2		18	
3	マナーの基本1	19	聴く技術（応用）
4		20	
5	マナーの基本2	21	話す基本1
6		22	
7	マナーの基本2	23	話す基本2
8		24	
9	マナーの基本3	25	話す技術（応用）
10		26	
11	マナーの基本3	27	話す技術（応用）
12		28	
13	聴く基本1	29	VAK
14		30	
15	聴く基本2	31	VAK
16		32	

33	クレーム対応	59	接客ロールプレイング
34		60	
35	クレーム対応	61	接客ロールプレイング
36		62	
37	電話対応1	63	ほめる技術
38		64	
39	電話対応2	65	ほめる技術
40		66	
41	就職対策		
42			
43	就職対策		
44			
45	客観的に自分を観る （マナー体得度チェック）		
46			
47	端的に話す 面接ロープレ		
48			
49	端的に話す 面接ロープレ		
50			
51	自己理解 エニアグラム		
52			
53	自己理解 エニアグラム		
54			
55	キャリアプラン		
56			
57	キャリアプラン		
58			

開講年度	2026年度	課目名	運営管理	学年	2年
担当教員	神谷 尚男	学科	美容総合科（ヘア）	時限数	66時限

授業内容	経営に必要な人材、資源、資金、財務諸表、社会保障制度などへの理解を深める。 将来経営者としての理念および知識の一助ともなるべく授業に努めている。
授業目標	事務的知識を理解するとともに、卒業後の社会保障について学ぶ。 美容師試験を目標に経営、各種の年金及び保険、サービスなどについて理解する。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	

授業計画及び学習の内容

1	経営とは何か、経営戦略	19	介護保険、雇用保険
2	練習問題（経営、経営戦略）	20	練習問題（介護保険、雇用保険）
3	理美容業の経営、資金の管理、収支	21	労働者災害補償保険
4	理美容業の経営、資金の管理、収支	22	労働者災害補償保険
5	練習問題（資金の管理、収支）	23	練習問題（労災）美容業と健康課題、
6	資金の管理、資産と負債	24	練習問題（健康管理）
7	資金の管理、資産と負債	25	サービス・デザイン、マーケティング
8	貸借対照表と作成	26	練習問題（サービス、マーケティング）
9	損益計算書と作成	27	サービスの形、プロモーション
10	損益計算書と作成	28	練習問題（サービス、コスト）
11	会計の考え方、税金、青・白色申告	29	接客についての理解
12	練習問題（会計、税金）	30	練習問題（接客、謝罪）
13	人という資源、働く者の権利、ハラスメント防止	31	国家試験対策
14	練習問題（給与、労働三法）	32	
15	社会保障	33	
16	国民年金、国民健康保険	34	
17	練習問題（国民年金、国民健康保険）		
18	厚生年金、健康保険、練習問題（年金、保険）		

開講年度	2026年度	課目名	運営管理	学年	2年
担当教員	中尾 実	学科	美容総合科（トータル）	時限数	66時限

授業内容	経営に必要な人材、資源、資金、財務諸表、社会保障制度などへの理解を深める。 将来経営者としての理念および知識の一助ともなるべく授業に努めている。
授業目標	事務的知識を理解するとともに、卒業後の社会保障について学ぶ。 美容師試験を目標に経営、各種の年金及び保険、サービスなどについて理解する。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	高等学校1種免許（公民）を取得。経営顧問の経験を活かし教科指導に務めている

授業計画及び学習の内容			
1	経営とは何か、経営戦略	19	介護保険、雇用保険
2	練習問題（経営、経営戦略）	20	練習問題（介護保険、雇用保険）
3	理美容業の経営、資金の管理、収支	21	労働者災害補償保険
4	理美容業の経営、資金の管理、収支	22	労働者災害補償保険
5	練習問題（資金の管理、収支）	23	練習問題（労災）美容業と健康課題、
6	資金の管理、資産と負債	24	練習問題（健康管理）
7	資金の管理、資産と負債	25	サービス・デザイン、マーケティング
8	貸借対照表と作成	26	練習問題（サービス、マーケティング）
9	損益計算書と作成	27	サービスの形、プロモーション
10	損益計算書と作成	28	練習問題（サービス、コスト）
11	会計の考え方、税金、青・白色申告	29	接客についての理解
12	練習問題（会計、税金）	30	練習問題（接客、謝罪）
13	人という資源、働く者の権利、ハラスメント防止	31	国家試験対策
14	練習問題（給与、労働三法）	32	
15	社会保障	33	
16	国民年金、国民健康保険	34	
17	練習問題（国民年金、国民健康保険）		
18	厚生年金、健康保険、練習問題（年金、保険）		

開講年度	2026年度	課目名	運営管理	学年	2年
担当教員	中尾 実	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	66時限

授業内容	経営に必要な人材、資源、資金、財務諸表、社会保障制度などへの理解を深める。 将来経営者としての理念および知識の一助ともなるべく授業に努めている。
授業目標	事務的知識を理解するとともに、卒業後の社会保障について学ぶ。 美容師試験を目標に経営、各種の年金及び保険、サービスなどについて理解する。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	高等学校1種免許（公民）を取得。経営顧問の経験を活かし教科指導に務めている

授業計画及び学習の内容			
1	経営とは何か、経営戦略	19	介護保険、雇用保険
2	練習問題（経営、経営戦略）	20	練習問題（介護保険、雇用保険）
3	理美容業の経営、資金の管理、収支	21	労働者災害補償保険
4	理美容業の経営、資金の管理、収支	22	労働者災害補償保険
5	練習問題（資金の管理、収支）	23	練習問題（労災）美容業と健康課題、
6	資金の管理、資産と負債	24	練習問題（健康管理）
7	資金の管理、資産と負債	25	サービス・デザイン、マーケティング
8	貸借対照表と作成	26	練習問題（サービス、マーケティング）
9	損益計算書と作成	27	サービスの形、プロモーション
10	損益計算書と作成	28	練習問題（サービス、コスト）
11	会計の考え方、税金、青・白色申告	29	接客についての理解
12	練習問題（会計、税金）	30	練習問題（接客、謝罪）
13	人という資源、働く者の権利、ハラスメント防止	31	国家試験対策
14	練習問題（給与、労働三法）	32	
15	社会保障	33	
16	国民年金、国民健康保険	34	
17	練習問題（国民年金、国民健康保険）		
18	厚生年金、健康保険、練習問題（年金、保険）		

開講年度	2026年度	課目名	関係法規制度	学年	2年
担当教員	中尾 実	学科	美容総合科（ヘア）	時限数	34時限

授業内容	法の分類および成立過程を知るとともに、衛生行政、保健所の役割、公衆衛生活動、美容師法ほか関連法規を理解する。
授業目標	・美容師法をはじめ、法令順守を再認識する。 ・美容師試験を目標にするとともに、現場で活かせる知識を身に付ける。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	法学部卒。美容師の業務にも携わり法制度・実務を交えて指導にあたっている。

授業計画及び学習の内容

1	法制度の概要	19	立入検査、行政処分
2	法制度の概要	20	練習問題と解説（立入検査、閉鎖命令）
3	練習問題と解説（法とは）	21	罰則について
4	衛生行政の概要、保健所、練習問題（保健所）	22	練習問題と解説（罰則）
5	美容師試験	23	地域保健法、医師法、生衛法
6	練習問題と解説（美容師試験）	24	練習問題（生活衛生関係営業の運営の適正化
7	美容師免許	25	労働基準法、労働安全法、雇用保険法
8	練習問題と解説（美容師免許）	26	問題（生活衛生関係営業の運営の適正化、労基
9	開設届、免許の書換と、再交付	27	美容師試験対策（過去問題と解答）
10	練習問題（開設の届出、免許の書換、再交付）	28	
11	業務の停止と免許の取消	29	美容師試験対策（過去問題と解答）
12	練習問題と解説（業務の停止と免許の取消）	30	
13	管理美容師	31	国家試験対策
14	練習問題と解説（管理美容師）	32	
15	開設の届出	33	
16	練習問題と解説（美容所の開設）	34	
17	開設者の衛生措置、美容を行う場所		
18	練習問題と解説（開設者の衛生措置）		

開講年度	2026年度	課目名	関係法規制度	学年	2年
担当教員	中尾 実	学科	美容総合科（トータル）	時限数	34時限

授業内容	法の分類および成立過程を知るとともに、衛生行政、保健所の役割、公衆衛生活動、美容師法ほか関連法規を理解する。
授業目標	・美容師法をはじめ、法令順守を再認識する。 ・美容師試験を目標にするとともに、現場で活かせる知識を身に付ける。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	法学部卒。美容師の業務にも携わり法制度・実務を交えて指導にあたっている。

授業計画及び学習の内容			
1	法制度の概要	19	立入検査、行政処分
2	法制度の概要	20	練習問題と解説（立入検査、閉鎖命令）
3	練習問題と解説（法とは）	21	罰則について
4	衛生行政の概要、保健所、練習問題（保健所）	22	練習問題と解説（罰則）
5	美容師試験	23	地域保健法、医師法、生衛法
6	練習問題と解説（美容師試験）	24	練習問題（生活衛生関係営業の運営の適正化
7	美容師免許	25	労働基準法、労働安全法、雇用保険法
8	練習問題と解説（美容師免許）	26	問題（生活衛生関係営業の運営の適正化、労基
9	開設届、免許の書換と、再交付	27	美容師試験対策（過去問題と解答）
10	練習問題（開設の届出、免許の書換、再交付）	28	美容師試験対策（過去問題と解答）
11	業務の停止と免許の取消	29	
12	練習問題と解説（業務の停止と免許の取消）	30	
13	管理美容師	31	国家試験対策
14	練習問題と解説（管理美容師）	32	
15	開設の届出	33	
16	練習問題と解説（美容所の開設）	34	
17	開設者の衛生措置、美容を行う場所		
18	練習問題と解説（開設者の衛生措置）		

開講年度	2026年度	課目名	関係法規制度	学年	2年
担当教員	中尾 実	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	34時限

授業内容	法の分類および成立過程を知るとともに、衛生行政、保健所の役割、公衆衛生活動、美容師法ほか関連法規を理解する。
授業目標	・美容師法をはじめ、法令順守を再認識する。 ・美容師試験を目標にするとともに、現場で活かせる知識を身に付ける。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	法学部卒。美容師の業務にも携わり法制度・実務を交えて指導にあたっている。

授業計画及び学習の内容

1	法制度の概要	19	立入検査、行政処分
2	法制度の概要	20	練習問題と解説（立入検査、閉鎖命令）
3	練習問題と解説（法とは）	21	罰則について
4	衛生行政の概要、保健所、練習問題（保健所）	22	練習問題と解説（罰則）
5	美容師試験	23	地域保健法、医師法、生衛法
6	練習問題と解説（美容師試験）	24	練習問題（生活衛生関係営業の運営の適正化
7	美容師免許	25	労働基準法、労働安全法、雇用保険法
8	練習問題と解説（美容師免許）	26	問題（生活衛生関係営業の運営の適正化、労基
9	開設届、免許の書換と、再交付	27	美容師試験対策（過去問題と解答）
10	練習問題（開設の届出、免許の書換、再交付）	28	
11	業務の停止と免許の取消	29	美容師試験対策（過去問題と解答）
12	練習問題と解説（業務の停止と免許の取消）	30	
13	管理美容師	31	国家試験対策
14	練習問題と解説（管理美容師）	32	
15	開設の届出	33	
16	練習問題と解説（美容所の開設）	34	
17	開設者の衛生措置、美容を行う場所		
18	練習問題と解説（開設者の衛生措置）		

開講年度	2026年度	課目名	香粧品化学	学年	1・2年
担当教員	蛭田 努	学科	美容総合科（ヘア）	時限数	66時限

授業内容	物質の基本原理の理解と、化学薬品の取り扱い 溶液の調整法など化学の基本操作について
授業目標	香粧品について化学的な性質を理解させるとともに、正しく使用するための知識と技術を身につける 香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	1997年に美容師免許を取得し、約5年の実務経験を経て美容教員となる 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容					
1	第1編 第1章 1～3節 香粧品総論	35	4節 パーマ剤の分類		
2	第2章 1～2節 香粧品使用で気を付ける事	36	4節 パーマ剤の使用上の注意		
3	3節 香粧品の安全性と安定性	37	5節 ヘアカラー製品		
4	第3章 1～2節 香粧品の成り立ち	38	5節 脱色剤・脱染剤		
5	3節 油性原料	39	5節 永久染毛剤		
6	3節 その他の油性原料	40	5節 ヘアカラー製品の使用上の注意		
7	4節 界面活性剤	41	5節 その他のヘアカラー製品		
8	4節 界面活性剤の香粧品への応用	42	6節 スカルプケア製品		
9	振り返りテスト	43	6節 スカルプトリートメント製品		
10	5節 高分子化合物	44	振り返りテスト		
11	6節 色材	45	試験対策授業		
12	7節 香料	46			
13	8節 製品を安定させる配合原料	47	教科書全範囲総復習		
14	9節 その他の機能性配合原料	48			
15	10節 雑貨原料	49	教科書全範囲総復習		
16	第2編 第1章 1節 スキンケア製品	50			

17	2～3節 クレンジング用香粧品	51	教科書全範囲総復習
18	3節 コンディショニング用香粧品	52	
19	4節 トリートメント用香粧品	53	教科書全範囲総復習
20	第4節 美白用香粧品	54	
21	振り返りテスト	55	教科書全範囲総復習
22	試験対策授業	56	
23	第2章 1節 メイクアップ製品の基剤	57	教科書全範囲総復習
24	2節 ベースメイクアップ香粧品	58	
25	3節 ポイントメイクアップ香粧品	59	教科書全範囲総復習
26	4節 アイメイクアップ製品	60	
27	5節 まつ毛ケア製品	61	教科書全範囲総復習
28	6節 ネイルメイクアップ香粧品	62	
29	7節 ネイルケア製品	63	国家試験対策
30	第3章 1節 ヘアクレンジング香粧品	64	
31	2節 ヘアコンディショニング香粧品	65	
32	3節 ヘアスタイリング料	66	
33	振り返りテスト		
34	4節 パーマの原理		

開講年度	2026年度	課目名	香粧品化学	学年	1・2年
担当教員	土井 良二郎	学科	美容総合科（トータル）	時限数	66時限

授業内容	物質の基本原理の理解と、化学薬品の取り扱い 溶液の調整法など化学の基本操作について
授業目標	香粧品について化学的な性質を理解させるとともに、正しく使用するための知識と技術を身につける 香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	

授業計画及び学習の内容				
1	第1編 第1章 1～3節 香粧品総論	34	4節 パーマの原理	
2	第2章 1～2節 香粧品使用で気を付ける事	35	4節 パーマ剤の分類	
3	3節 香粧品の安全性と安定性	36	4節 パーマ剤の使用上の注意	
4	第3章 1～2節 香粧品の成り立ち	37	5節 ヘアカラー製品	
5	3節 油性原料	38	5節 脱色剤・脱染剤	
6	3節 その他の油性原料	39	5節 永久染毛剤	
7	4節 界面活性剤	40	5節 ヘアカラー製品の使用上の注意	
8	4節 界面活性剤の香粧品への応用	41	5節 その他のヘアカラー製品	
9	振り返りテスト	42	6節 スカルプケア製品	
10	5節 高分子化合物	43	6節 スカルプトリートメント製品	
11	6節 色材	44	振り返りテスト	
12	7節 香料	45	試験対策授業	
13	8節 製品を安定させる配合原料	46		
14	9節 その他の機能性配合原料	47	教科書全範囲総復習	
15	10節 雑貨原料	48		
16	第2編 第1章 1節 スキンケア製品	49		
17	2～3節 クレンジング用香粧品	50	教科書全範囲総復習	

18	3 節 コンディショニング用香粧品	51	
19	4 節 トリートメント用香粧品	52	教科書全範囲総復習
20	4 節 美白用香粧品	53	
21	振り返りテスト	54	
22	試験対策授業	55	教科書全範囲総復習
23	第2章 1 節 メイクアップ製品の基剤	56	
24	2 節 ベースメイクアップ香粧品	57	
25	3 節 ポイントメイクアップ香粧品	58	教科書全範囲総復習
26	4 節 アイメイクアップ製品	59	
27	5 節 まつ毛ケア製品	60	
28	6 節 ネイルメイクアップ香粧品	61	教科書全範囲総復習
29	7 節 ネイルケア製品	62	
30	第3章 1 節 ヘアクレンジング香粧品	63	国家試験対策
31	2 節 ヘアコンディショニング香粧品	64	
32	3 節 ヘアスタイリング料	65	
33	振り返りテスト	66	

開講年度	2026年度	課目名	香粧品化学	学年	1・2年
担当教員	土井 良二郎	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	66時限

授業内容	物質の基本原理の理解と、化学薬品の取り扱い 溶液の調整法など化学の基本操作について
授業目標	香粧品について化学的な性質を理解させるとともに、正しく使用するための知識と技術を身につける 香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	

授業計画及び学習の内容					
1	第1編 第1章 1～3節 香粧品総論	35	4節 パーマ剤の分類		
2	第2章 1～2節 香粧品使用で気を付ける事	36	4節 パーマ剤の使用上の注意		
3	3節 香粧品の安全性と安定性	37	5節 ヘアカラー製品		
4	第3章 1～2節 香粧品の成り立ち	38	5節 脱色剤・脱染剤		
5	3節 油性原料	39	5節 永久染毛剤		
6	3節 その他の油性原料	40	5節 ヘアカラー製品の使用上の注意		
7	4節 界面活性剤	41	5節 その他のヘアカラー製品		
8	4節 界面活性剤の香粧品への応用	42	6節 スカルプケア製品		
9	振り返りテスト	43	6節 スカルプトリートメント製品		
10	5節 高分子化合物	44	振り返りテスト		
11	6節 色材	45	試験対策授業		
12	7節 香料	46			
13	8節 製品を安定させる配合原料	47	教科書全範囲総復習		
14	9節 その他の機能性配合原料	48			
15	10節 雑貨原料	49	教科書全範囲総復習		
16	第2編 第1章 1節 スキンケア製品	50			

17	2～3節 クレンジング用香粧品	51	教科書全範囲総復習
18	3節 コンディショニング用香粧品	52	
19	4節 トリートメント用香粧品	53	教科書全範囲総復習
20	第4節 美白用香粧品	54	
21	振り返りテスト	55	教科書全範囲総復習
22	試験対策授業	56	
23	第2章 1節 メイクアップ製品の基剤	57	教科書全範囲総復習
24	2節 ベースメイクアップ香粧品	58	
25	3節 ポイントメイクアップ香粧品	59	教科書全範囲総復習
26	4節 アイメイクアップ製品	60	
27	5節 まつ毛ケア製品	61	教科書全範囲総復習
28	6節 ネイルメイクアップ香粧品	62	
29	7節 ネイルケア製品	63	国家試験対策
30	第3章 1節 ヘアクレンジング香粧品	64	
31	2節 ヘアコンディショニング香粧品	65	
32	3節 ヘアスタイリング料	66	
33	振り返りテスト		
34	4節 パーマの原理		

2026年度 シラバス



開講年度	2026年度	課目名	衛生管理	学年	1・2年
担当教員	平鹿 守	学科	美容総合科（ヘア）	単位・時限数	3単位・100時限

授業内容	公衆衛生・衛生管理・伝染病などの知識や消毒法等について
授業目標	美容師の業務内容と公衆衛・衛生管理の意義を理解する。 美容の業務を行う上で、注意すべき感染症の予防対策について理解する。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	1997年に美容師免許を取得し、本校実習教員として勤務。 多数の資格を取得しながら実務経験をつむ。現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	第1編 公衆衛生	51	第2章 消毒法各論
2	第1章 公衆衛生の概要（1節・2節・3節・4節）	52	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
3	第2章 保健	53	第2章 消毒法各論
4	（1節1 母子保健・1節2 成人、高齢者保健）	54	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
5	第2章 保健	55	第2章 消毒法各論
6	（1節2 成人、高齢者保健）	56	（2節 化学的消毒法（殺菌法））
7	第2章 保健	57	第2章 消毒法各論
8	（1節3 精神保健）	58	（2節 化学的消毒法（殺菌法）） 3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意）
9	第1編 公衆衛生まとめ	59	第3章 消毒法実習
10		60	（1節 各種消毒薬）
11	第1編 公衆衛生まとめ・小テスト	61	第3章 消毒法実習
12		62	（2節 理容所美容所の消毒の実際）
13	第2編 環境衛生	63	第3章 消毒法実習
14	第1章 環境衛生（1節 環境衛生の概要）	64	（3節 理容所美容所の清潔法の実際）
15	第1章 環境衛生（2節 空気環境）	65	第4編 衛生管理技術まとめ
16		66	

17	第1章 環境衛生（3節 衣服、住居の衛生）	67	第4編 衛生管理技術まとめ
18		68	
19	第1章 環境衛生 （4節 上下水道と廃棄物・5節 衛生害虫と ネズミ・6節 環境保全）	69	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
20		70	
21	第2編 環境衛生まとめ	71	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
22		72	
23	第2編 環境衛生まとめ・小テスト	73	消毒薬使用液の希釈・計算練習問題
24		74	
25	第3編 感染症 第1章 感染症の総論（1節 人と感染症）	75	教科書全範囲 総復習
26		76	
27	第1章 感染症の総論 （1節 人と感染症・2節 病原微生物）	77	教科書全範囲 総復習
28		78	
29	第1章 感染症の総論 （2節 病原微生物・3節 感染症の予防）	79	教科書全範囲 総復習
30		80	
31	第2章 感染症の各論 （1節 理容業美容業と感染症・2節 主な 感染症）	81	教科書全範囲 総復習
32		82	
33	第2章 感染症の各論（2節 主な感染症）	83	教科書全範囲 総復習
34		84	
35	第2章 感染症の各論（3節 具体的な対策の例）	85	教科書全範囲 総復習
36		86	
37	第3編 感染症まとめ	87	教科書全範囲 総復習
38		88	
39	第3編 感染症まとめ	89	教科書全範囲 総復習
40		90	
41	第3編 感染症まとめ・小テスト	91	教科書全範囲 総復習
42		92	

43		93	
44	第3編 感染症まとめ・小テスト	94	国家試験対策
45	第4編 衛生管理技術	95	
46	第1章 消毒法総論 (1節 消毒とは・2節 消毒の意義)	96	
47	第1章 消毒法総論 (3節 理容美容の業務と消毒との関係 4節 消毒法と適用上の注意)	97	
48		98	国家試験対策
49	第1章 消毒法総論 (4節 消毒法と適用上の注意)	99	
50		100	

2026年度 シラバス

開講年度	2026年度	課目名	衛生管理	学年	1・2年
担当教員	金子 真弓	学科	美容総合科（トータル）	時限数	3単位・100時限

授業内容	公衆衛生・衛生管理・伝染病などの知識や消毒法等について
授業目標	美容師の業務内容と公衆衛・衛生管理の意義を理解する。 美容の業務を行う上で、注意すべき感染症の予防対策について理解する。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	1987年に美容師免許を取得し、本校エステティック科教員として勤務。 多数の資格を取得しながら実務経験をつむ。現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	第1編 公衆衛生	52	第2章 消毒法各論
2	第1章 公衆衛生の概要（1節・2節・3節・4節）	53	（1節 化学的消毒法（殺菌法））
3	第2章 保健（1節1 母子保健）	54	
4	第2章 保健	55	第2章 消毒法各論
5	（1節2 成人、高齢者保健・1節3 精神保健）	56	（2節 化学的消毒法（殺菌法）
6		57	3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意）
7	第1編 公衆衛生まとめ	58	第3章 消毒法実習
8		59	（1節 各種消毒薬・2節 理容所美容所の消毒
9		60	の 実際・3節 理容所美容所の清潔法の実際）
10	第1編 公衆衛生まとめ・小テスト	61	第5編 衛生管理の実践例
11		62	第1章 理容所及び美容所における衛生管理要領
12		63	第2章 理美容所の自主管理点検表
13	第2編 環境衛生	64	第4編 衛生管理技術まとめ
14	第1章 環境衛生	65	消毒薬使用液の希釈・計算練習問題
15	（1節 環境衛生の概要・2節 空気環境）	66	
16	第1章 環境衛生	67	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
17	（2節 空気環境・3節 衣服、住居の衛生）	68	
18		69	
19	第1章 環境衛生	70	教科書全範囲 総復習
20	（4節 上下水道と廃棄物・	71	
21	5節 衛生害虫とネズミ・6節 環境保全）	72	

22		73	
23	第2編 環境衛生まとめ・小テスト	74	教科書全範囲 総復習
24		75	
25	第3編 感染症	76	
26	第1章 感染症の総論	77	教科書全範囲 総復習
27	(1節 人と感染症・2節 病原微生物)	78	
28		79	
29	第1章 感染症の総論	80	教科書全範囲 総復習
30	(2節 病原微生物・3節 感染症の予防)	81	
31		82	
32	第2章 感染症の各論	83	教科書全範囲 総復習
33	(1節 理容業美容業と感染症 2節 主な感染症)	84	
34		85	
35	第2章 感染症の各論	86	教科書全範囲 総復習
36	(2節 主な感染症 3節 具体的な対策の例)	87	
37		88	
38	第3編 感染症まとめ	89	教科書全範囲 総復習
39		90	
40		91	教科書全範囲 総復習
41	第3編 感染症まとめ・小テスト	92	
42		93	
43	第4編 衛生管理技術	94	国家試験対策
44	第1章 消毒法総論	95	
45	(1節 消毒とは・2節 消毒の意義)	96	
46		97	
47	第1章 消毒法総論	98	国家試験対策
48	(3節 理容美容の業務と消毒との関係 4節 消毒法と適用上の注意)	99	
49		100	
50	第2章 消毒法各論		
51	(1節 理学的消毒法（殺菌法）)		

2026年度 シラバス



開講年度	2026年度	課目名	衛生管理	学年	1・2年
担当教員	澤館 亮	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	3単位・100時限

授業内容	公衆衛生・衛生管理・伝染病などの知識や消毒法等について
授業目標	美容師の業務内容と公衆衛・衛生管理の意義を理解する。 美容の業務を行う上で、注意すべき感染症の予防対策について理解する。
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	2006年に美容師免許を取得し同年から約9年間の実務経験を経て美容教員となる 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	第1編 公衆衛生	51	第2章 消毒法各論
2	第1章 公衆衛生の概要（1節・2節・3節・4節）	52	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
3	第2章 保健	53	第2章 消毒法各論
4	（1節1 母子保健・1節2 成人、高齢者保健）	54	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
5	第2章 保健	55	第2章 消毒法各論
6	（1節2 成人、高齢者保健）	56	（2節 化学的消毒法（殺菌法））
7	第2章 保健	57	第2章 消毒法各論
8	（1節3 精神保健）	58	（2節 化学的消毒法（殺菌法）） 3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意
9	第1編 公衆衛生まとめ	59	第3章 消毒法実習
10		60	（1節 各種消毒薬）
11	第1編 公衆衛生まとめ・小テスト	61	第3章 消毒法実習
12		62	（2節 理容所美容所の消毒の実際）
13	第2編 環境衛生	63	第3章 消毒法実習
14	第1章 環境衛生（1節 環境衛生の概要）	64	（3節 理容所美容所の清潔法の実際）
15	第1章 環境衛生（2節 空気環境）	65	第4編 衛生管理技術まとめ
16		66	

17	第1章 環境衛生（3節 衣服、住居の衛生）	67	第4編 衛生管理技術まとめ
18		68	
19	第1章 環境衛生 （4節 上下水道と廃棄物・5節 衛生害虫と ネズミ・6節 環境保全）	69	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
20		70	
21	第2編 環境衛生まとめ	71	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
22		72	
23	第2編 環境衛生まとめ・小テスト	73	消毒薬使用液の希釈・計算練習問題
24		74	
25	第3編 感染症 第1章 感染症の総論（1節 人と感染症）	75	教科書全範囲 総復習
26		76	
27	第1章 感染症の総論 （1節 人と感染症・2節 病原微生物）	77	教科書全範囲 総復習
28		78	
29	第1章 感染症の総論 （2節 病原微生物・3節 感染症の予防）	79	教科書全範囲 総復習
30		80	
31	第2章 感染症の各論 （1節 理容業美容業と感染症・2節 主な 感染症）	81	教科書全範囲 総復習
32		82	
33	第2章 感染症の各論（2節 主な感染症）	83	教科書全範囲 総復習
34		84	
35	第2章 感染症の各論（3節 具体的な対策の例）	85	教科書全範囲 総復習
36		86	
37	第3編 感染症まとめ	87	教科書全範囲 総復習
38		88	
39	第3編 感染症まとめ	89	教科書全範囲 総復習
40		90	
41	第3編 感染症まとめ・小テスト	91	教科書全範囲 総復習
42		92	

43		93	
44	第3編 感染症まとめ・小テスト	94	
45	第4編 衛生管理技術	95	国家試験対策
46	第1章 消毒法総論 (1節 消毒とは・2節 消毒の意義)	96	
47	第1章 消毒法総論 (3節 理容美容の業務と消毒との関係	97	
48	4節 消毒法と適用上の注意)	98	国家試験対策
49	第1章 消毒法総論	99	
50	(4節 消毒法と適用上の注意)	100	

2026年度 シラバス



開講年度	2026年度	課目名	美容技術理論	学年	1・2年
担当教員	大谷 雅子	学科	美容総合科（ヘア）	時限数	166時限

授業内容	○美容で使用する器具→美容で使用する主な機械器具について物理の基本事項を学ばせるとともに、人間の手と器具の動き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる ○基礎技術→美容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる ○頭部、顔部及び頸部技術→スカルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー・ヘアリンス技術、ヘアカット、パーマ、カラーリング、ヘアセット、ヘアカラーリングなどの基礎的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせる ○特殊技術→エステティック技術、ネイル技術などの美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる ○和装技術→日本髪基礎知識、技術の実践について学ばせる ○美容デザイン→美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用などについて学ばせる
授業目標	○美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせる ○美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎技術とを作業の実践に即して指導し習熟させること あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること ○優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は2013年に美容師免許を取得ののち、約12年間の美容室とヘアメイク業務の経験をつむ。 その後本校教員となり、現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	国家試験と美容技術理論について	85	7章 ヘアカラーリング
2		86	
3	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	87	7章 ヘアカラーリング
4		88	
5	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	89	7章 ヘアカラーリング
6		90	7章 小テスト
7	序章 国家試験過去問題	91	後期試験勉強
8	1章 美容用具	92	
9	1章 羊刈田目	93	1年生 復習テスト

11	1章 美容用具	95	6章 ヘアセッティング
12		96	
13	序章・1章 小テスト	97	6章 ヘアセッティング
14	5章 パーマネントウェーブ	98	
15	5章 パーマネントウェーブ	99	6章 ヘアセッティング
16		100	
17	5章 パーマネントウェーブ	101	6章 ヘアセッティング
18		102	
19	5章 パーマネントウェーブ	103	6章 小テスト
20		104	8章 エステティック
21	5章 パーマネントウェーブ	105	8章 エステティック
22		106	
23	5章 パーマネントウェーブ	107	8章 エステティック
24		108	
25	序章・1章・5章 まとめテスト	109	8章 エステティック
26	3章 ヘアデザイン	110	
27	3章 ヘアデザイン	111	8章 エステティック
28		112	
29	3章 ヘアデザイン	113	8章 エステティック
30		114	
31	3章 ヘアデザイン	115	8章 小テスト
32		116	9章 ネイル技術
33	3章 ヘアデザイン	117	9章 ネイル技術
34		118	
35	前期試験勉強	119	9章 ネイル技術
36		120	
37	前期試験復習	121	9章 ネイル技術
38	4章 ヘアカット	122	

39	4章 ヘアカット	123	9章 ネイル技術
40		124	
41	4章 ヘアカット	125	9章 小テスト
42		126	10章 メイクアップ
43	4章 ヘアカット	127	10章 メイクアップ
44		128	
45	4章 ヘアカット	129	10章 メイクアップ
46		130	
47	4章 ヘアカット	131	10章 メイクアップ
48		132	
49	4章 小テスト	133	10章 メイクアップ
50	2章 シャンプー	134	
51	2章 シャンプー	135	10章 メイクアップ
52		136	
53	2章 シャンプー	137	10章 メイクアップ
54		138	10章 小テスト
55	2章 シャンプー	139	前期試験勉強
56		140	
57	2章 シャンプー	141	教科書全範囲 総復習
58		142	
59	2章 小テスト	143	教科書全範囲 総復習
60	12章 着付の理論と技術	144	
61	12章 着付の理論と技術	145	教科書全範囲 総復習
62		146	
63	12章 着付の理論と技術	147	教科書全範囲 総復習
64		148	
65	12章 着付の理論と技術	149	教科書全範囲 総復習
66		150	

67	12章 着付の理論と技術	151	教科書全範囲 総復習
68		152	
69	12章 着付の理論と技術	153	教科書全範囲 総復習
70		154	
71	12章 小テスト	155	教科書全範囲 総復習
72	11章 日本髪	156	
73	11章 日本髪	157	教科書全範囲 総復習
74		158	
75	11章 日本髪	159	国家試験対策
76		160	
77	11章 日本髪	161	
78		162	
79	11章 日本髪	163	国家試験対策
80		164	
81	11章 小テスト	165	
82	7章 ヘアカラーリング	166	
83	7章 ヘアカラーリング		
84			

2026年度 シラバス



開講年度	2026年度	課目名	美容技術理論	学年	1・2年
担当教員	新保 奈巳	学科	美容総合科（トータル）	時限数	166時限

授業内容	○美容で使用する器具→美容で使用する主な機械器具について物理の基本事項を学ばせるとともに、人間の手と器具の動き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる ○基礎技術→美容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる ○頭部、顔部及び頸部技術→スカルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー・ヘアリンス技術、ヘアカットting、パーマネットウェービング、ヘアセッティング、ヘアカラーリングなどの基礎的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせる ○特殊技術→エステティック技術、ネイル技術などの美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる ○和装技術→日本髪基礎知識、技術の実際について学ばせる ○美容デザイン→美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用などについて学ばせる
授業目標	○美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせる ○美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させること あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること ○優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は1991年に美容師免許を取得し約6年の美容室勤務ののち、教員となる 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1		85	
2	序章 美容理論を学ぶにあたって	86	11章 日本髪
3		87	
4	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	88	11章 日本髪
5	小テスト	89	小テスト
6		90	
7		91	
8	9章 ネイル技術	92	後期学科試験対策
9		93	
10		94	
11	9章 ネイル技術	95	後期学科試験解答・解説

13		97	
14	9章 ネイル技術	98	2章 シャンプーイング
15		99	
16		100	
17	9章 ネイル技術 小テスト	101	2章 シャンプーイング
18		102	
19		103	
20	6章 ヘアセッティング	104	2章 シャンプーイング 小テスト
21		105	
22		106	
23	12章 着付けの理論と技術	107	3章 ヘアデザイン
24		108	
25		109	
26	6章 ヘアセッティング	110	3章 ヘアデザイン 小テスト
27		111	
28		112	
29	1章 美容用具	113	4章 ヘアカットイング
30		114	
31		115	
32	1章 美容用具	116	4章 ヘアカットイング
33		117	
34		118	
35	1章 美容用具 小テスト	119	4章 ヘアカットイング 小テスト
36		120	
37		121	
38	10章 メイクアップ	122	7章 ヘアカラーリング
39		123	
40		124	
41	10章 メイクアップ	125	7章 ヘアカラーリング
42		126	
43		127	
44	10章 メイクアップ	128	7章 ヘアカラーリング 小テスト
45		129	
46		130	
47	10章 メイクアップ 小テスト	131	前期学科試験対策

48		132	
49		133	
50	8章 エステティック	134	前期学科試験解答・解説
51		135	
52	8章 エステティック	136	
53	小テスト	137	教科書全範囲 総復習
54		138	
55		139	
56	前期学科試験対策	140	教科書全範囲 総復習
57		141	
58		142	
59	前期学科試験解答・解説	143	教科書全範囲 総復習
60		144	
61		145	
62	5章 パーマネントウェービング	146	教科書全範囲 総復習
63		147	
64		148	
65	5章 パーマネントウェービング	149	教科書全範囲 総復習
66		150	
67	5章 パーマネントウェービング	151	
68	小テスト	152	教科書全範囲 総復習
69		153	
70		154	
71	6章 ヘアセッシング	155	教科書全範囲 総復習
72		156	
73		157	教科書全範囲 総復習
74	6章 ヘアセッシング	158	
75		159	
76	6章 ヘアセッシング	160	国家試験対策
77	小テスト	161	
78		162	
79		163	
80	12章 着付けの理論と技術	164	国家試験対策
81		165	
82		166	

2026年度 シラバス



開講年度	2026年度	課目名	美容技術理論	学年	1・2年
担当教員	川越 彩紀	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	166時限

授業内容	○美容で使用する器具→美容で使用する主な機械器具について物理の基本事項を学ばせるとともに、人間の手と器具の動き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる ○基礎技術→美容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる ○頭部、顔部及び頸部技術→スカルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー・ヘアリンス技術、ヘアカットting、パーマネットウェービング、ヘアセッティング、ヘアカラーリングなどの基礎的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせる ○特殊技術→エステティック技術、ネイル技術などの美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる ○和装技術→日本髪基礎知識、技術の実際について学ばせる ○美容デザイン→美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用などについて学ばせる
授業目標	○美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせる ○美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させること あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること ○優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は2010年に美容師免許を取得ののち、美容室勤務のなかでカラーリストとして経験をつむ。 その後本校教員となり、現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	序章 美容理論と美容技術	85	10章 まつ毛エクステンション 小テスト
2		86	
3	序章 美容技術における作業姿勢	87	後期試験対策
4		88	
5	序章 人体各部の名称	89	後期試験対策
6		90	
7	序章 まとめ 小テスト	91	後期試験対策
8		92	

9	1章 美容用具：コーム、ブラシ	93	8章 エステティック概論
10		94	

11	1章 美容用具：シザーズ、レザー	95	8章 皮膚の生理と構造
12		96	
13	1章 美容用具：ピン類、ロッド、ローラー	97	8章 フェイシャルケア技術
14		98	
15	1章 美容用具：ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機	99	8章 フェイシャル及びデコルテマッサージ
16		100	
17	1章 まとめ 小テスト	101	8章 まとめ 小テスト
18		102	
19	2章 シャンプーイング総論	103	9章 ネイル技術の種類
20		104	
21	2章 サイドシャンプー、バックシャンプー ヘッドスパ	105	9章 爪の構造と機能、爪のカット形状
22		106	
23	2章 リンス、コンディショナー、トリートメント	107	9章 ネイル技術と公衆衛生
24		108	
25	2章 スカルプトリートメント	109	9章 ネイルケア、アーティフィシャルネイル
26		110	
27	2章 まとめ 小テスト	111	9章 まとめ 小テスト
28		112	
29	4章 ヘアカットिंगとは	113	3章 美容とデザイン
30		114	
31	4章 基礎理論、ベーシックなカット技法	115	3章 デザインの原理
32		116	
33	4章 シザーズによるカット技法	117	3章 まとめ 小テスト
34		118	
35	4章 レザーによるカット技法	119	11章 日本髪 of 名称、種類、特徴
36		120	
37	1章 まとめ 小テスト	121	11章 装飾品 結髪道具

39	5章 パーマ剤の分類	123	11章 結髪技術
40		124	
41	5章 注意事項	125	11章 日本髪の手入れ、かつら
42		126	
43	5章 パーマネントウェーブ技術	127	11章 小テスト
44		128	
45	5章 ワインディングのバリエーション	129	12章 礼装、着物のいろいろ
46		130	
47	5章 まとめ 小テスト	131	12章 帯、小物
48		132	
49	前期試験対策	133	12章 留袖、振袖着付け技術
50		134	
51	6章 ヘアセッティングとは	135	12章 男子・女子、袴着付け技術
52		136	
53	6章 ヘアパーティング、ヘアシェーピング ヘアカーリング	137	12章 まとめ 小テスト
54		138	
55	6章 ブロードドライ、アイロンセッティング	139	前期試験対策
56		140	
57	6章 アップスタイル、ウィッグとヘアピース	141	前期試験対策
58		142	
59	6章 まとめ 小テスト	143	前期試験対策
60		144	
61	7章 ヘアカラーの種類	145	国家試験対策
62		146	
63	7章 染毛のメカニズム	147	国家試験対策
64		148	
65	7章 色の基本	149	国家試験対策

67	7章 酸化染毛剤の技術手順	151	国家試験対策
68		152	
69	7章 まとめ 小テスト	153	国家試験対策
70		154	
71	10章 メイクアップと色彩	155	国家試験対策
72		156	
73	10章 メイクアップの道具	157	国家試験対策
74		158	
75	10章 スキンケア、ベースメイク	159	国家試験対策
76		160	
77	10章 アイメイク、アイブロウメイク、 リップメイク	161	
78		162	
79	10章 まとめ 小テスト	163	
80		164	
81	10章 まつ毛エクステンション	165	
82		166	
83	10章 まつ毛エクステンション		
84			